



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'96 10月



市内桃浜町の木谷道場にて

秋期 牛寺別展

## 十九路に道を求める棋士 -木谷 實-

会期：10月1日（火）～11月29日（金）

~~~~~牛寺別展記念イベント案内~~~~~

### 木谷實特別展記念多面打大会

市民200名と木谷門下棋士との多面打を行います。参加者は、希望の手合割（置碁）で対局できます。手合割りの目安は、入門者と級位者は9～8目、有段者は7～3目です。なお、多面打に参加できない方々にも囲碁に親しんでもらうため、当日会場にて九路盤囲碁入門教室（13:00と15:00の2回。先着50名に紙製九路盤セット進呈）、詰め碁コーナー、囲碁グッズコーナーを開きます。

- ・期日：11月3日（日）
- ・時間：13:30～16:00
- ・会場：紅谷町パールロード
- ・出席者：木谷門下会全員参加
- ・定員：200名。100名を公募し、申込多数の場合は（対局者）抽選します。残りは推薦参加者と当日の飛び入り参加者（約20名）です。飛び入り参加の場合は、当日13:00に会場で受付を行い、多数の場合は抽選します。
- ・申込：往復はがき（1人1枚）に住所、氏名、年齢、電話番号、および棋力（推定でかまいません。不明の方は囲碁歴年数を記してください）を記入し、博物館「多面打大会」係へ。対象小学生以上。

主催／平塚市博物館 後援／日本棋院・木谷門下会  
協力／紅谷町パールロード商店街振興組合・平塚市役所囲碁クラブ・平塚囲碁連盟

☆応募先：〒254 平塚市浅間町12-41 平塚市博物館 Tel. 0463-33-5111

### 特別展記念木谷門下一日指導碁教室

木谷門下会の棋士による初心者・有段者への指導碁教室を開きます。各回3名の棋士が出席し、1名の棋士が3人と指導対局します。1日2回実施します。

- ・期日：10月6日、13日、20日、27日、11月10日、17日、24日（いずれも日曜日）
- ・時間：13:00～16:00
- ・会場：平塚市博物館講堂
- ・参加：当日12:00～13:00に博物館で受付をし、18名を超えた場合は抽選とします。なお、2日目からの抽選は未当選者を優先します。
- ・定員：1日18名

主催／平塚市博物館 後援／日本棋院・木谷門下会

### 特別展記念囲碁入門教室

- ・期日：10月13日（日）、20日（日）
- ・時間：10:00～12:00
- ・講師：柴田寛二二段
- ・会場：平塚市博物館講堂
- ・申込：電話で直接平塚市博物館へ。その際、住所、氏名、年齢、電話番号を伝えてください。
- ・定員：先着30名

主催／平塚市博物館 後援／日本棋院・木谷門下会

\*特別展に関連して実施されるイベントは、木谷門下会所属棋士の方々全員にスケジュールの合間を縫ってご参加いただいたものです。

## みのり

&lt;製作：平成8年度博物館実習生20名&gt;

博物館1階の寄贈品コーナーに注目してください。いつもとは一風変わった賑やかな展示ができあがりました。居酒屋風の題字“みのり”に統いてかわいい案山子（かかし）が迎えてくれます。かつてのドブッ田での稻刈りを物語る田舟、刈台に続き、おっと透明人間が稻コキをしているではありませんか。センバ（稻コキマンガ）の隣にはイチコを担いだベニヤの人形がポリエステルのズボンにランニングシャツという時代考証を無視したいでたちで立ちはだかっています。これには平博（たいらひろし）という名前がちゃんとついているのですが、小学生からは宇宙人と呼ばれていました。

稻はセンバの刃の間にはさんで刃をコキ落とします。センバの威力は抜群で、刃はすべて下に落ちるのですがなかには穂首から切れた刃も混じります。これをクルリと叩いて刃を落とします。トヅルドオシ、箕、唐箕と選別の手順を分かりやすく展示しています。

床面に稻や藁が散乱したコーナーが続きましたが、格調高いお月見の展示に始まり、秋の年中行事がしめくくります。美味そうな十五夜の供え物、餅を背負って歩く蛙を大根が首を伸ばして見るという田の神節供のイラストなどが見どころです。

これらの展示は各大学から来た実習生20人が作り上げました。実習生は9月11日から19日まで一週間博物館の仕事を体験し、前半は各部門に分かれ資料整理作業を行い、後半の3日間で展示を作りました。展示について民俗担当のH2学芸員は「自分がやった展示より嬉しい」と出来映えに満足しているようです。若い感性と創意工夫が溢れた展示をぜひご堪能あれ。

実習生は期間中毎日実習日誌を提出することが義務づけられています。まじめにきちんと書いている日誌が多いなか、背伸びせず型破りの日誌を書いた1君のが学芸内で話題になりました。9月18日分を抜粋して紹介させていただきます。

◎（前略）ラベルはパソコンでつくることとなつたが、パソコンに詳しい人が行うしかないので、口はあまりはさめない。個人的に文字を扱うにはパソコンは向きだと思っている。ラベルや解説、写真と平行して展示準備もすすむ。道具の使い方を人形を使って説明するため、ベニヤで人型をつくる。マネキンがベターがないので、人から型をとりつくる。これに服を着せ、それらしくみせる。しかし、それらしい服がみつからなかった。収蔵室から出してきたズボンはなぜ資料なのか不思議な一品。実際に人型にはかけ浜野さんに見せたところ、浜野さんの作業ズボンであったことが判明した。このベースで進めば出来ます。

彼が幸か不幸か今回の展示の象徴「平博君」を誕生させてしまった張本人のひとりです。



統いて、公開されることを前提にして書いてもらった感想文を紹介します。

◆私達の7日間の実習は初日のビザーズガイドの制作から始まり、各分野ごとの資料整理、館の野外行事でもある『漂着物を拾う会』への参加（雨の為一般の方とは同行できなかった）、そして寄贈品コーナーへの展示を行った。中でも寄贈品コーナーへの展示は内容についての実習生同志での話し合いから白熱戦が繰り広げられたが、その結果がどうなったかは実際に展示を見て下さい。宙に浮く軍手や巨大色白農民、リアルなお供え物など完成した展示に実習生は満足して実習を終了したが、実習延長組の私達はこの展示が博物館の資料展示としていかに妙な物であるかを学芸員の先生方からお聞きしてその場で手直ししてしまいたい衝動にかられた。しかしこれがあの時点での私達の最高傑作と思い踏みとどまった。このように他では決してできない体験と、学芸員の先生方にはとんでもない気苦労を残して私達の実習は終わった。私達の実習を支えて下さった皆さん本当にありがとうございました。

（宮崎 麻子）

★のんびりとした学生生活を送っていた私にとっては、疲れることもありましたが充実した実習期間となりました。見学で訪れるときには考えられない長い時間を博物館の内側で過ごせたことは、大変貴重な経験だったと思います。

実習を通して再確認することができた事を1つ書きます。それは、知る喜びは身近なものに改めて目を向け直すことだけで十分に味わえるということです。知識や学問というものは、何かに気づいて疑問を抱くことから生まれる、などと言われます。地域に根ざしたこの館は、身の回りにそのようなきっかけがたくさんあることを伝えようとしているように感じました。また、普及活動への参加を通して参加者の方々の熱心な姿にも触れることができ、自分なりに興味関心を持っていることの楽しさを思い出したような気がします。

（富田 雅史）

## 特別展「動く大地を読む」記念講演会 開かれる

8月25日(日)に、夏期特別展「動く大地を読む」の記念講演会が博物館講堂で午後2時より開催されました。講演は、「相模湾の海底環境と日本列島の巨大地震」と題して、海洋科学技術センター深海研究部の研究主幹である藤岡換太郎先生にお話いただきました。藤岡先生は、海洋科学技術センターで潜水調査船「しんかい2000」や「しんかい6500」で、日本各地や世界の海洋に潜られ、プレートテクトニクスについて研究されている深海研究の第一人者です。

当日は、プレートテクトニクスや地震に関心のある方が168名も参加され、追加して出した椅子にすわれないほど大盛況でした。

講演は大きく4つの内容についてOHPとスライドを使って話されました。

まず、最初にプレートテクトニクスについて概説的に紹介されました。海洋の地形や大陸と海洋の分布や生い立ちがプレートの誕生や沈み込みによって形成されること、日本列島周辺のプレートがどんな配置になっているか、その境界である海溝はプレートが沈み込む場所であること等が話されました。

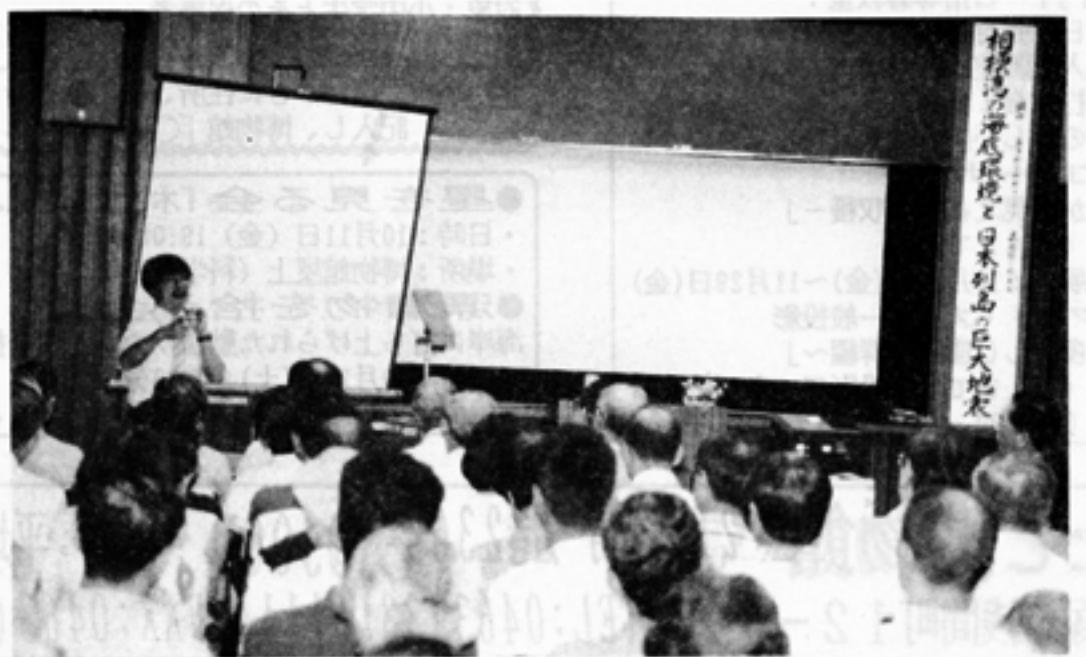
次に相模湾の話題に移られ、相模湾が日本列島に3つある水深1000m以上の湾の1つであること、相模湾は北西部・中部・南西部の3つに大きく分けられ、それについての特徴を説明されました。北西部については、沖ノ山堆列と呼ばれる海底の高まりが北西-南東方向へ連なり、大島などの火山からもたらされた堆積物

がフィリピン海プレートの運動により北米プレートに付加して生じたこと、かつて相模湾東部にあるとされた火山は幻の湘南火山帯であったことなどを紹介されました。中央部には相模トラフと呼ばれる平坦な海盆があり、1973年の集中豪雨で海底ケーブルが切断されたことを例に相模湾の乱泥流について話されました。西南部については、東伊豆沖海底火山群、熱川沖の海底枕状溶岩流、1989年の手石海丘の噴火についての話題を提供されました。

3つ目には1993年の北海道南西沖地震を例に、日本列島の巨大地震について紹介されました。日本海東縁が新しく生まれたプレート境界であること、ずっと隆起を続けてきた奥尻島が今回の地震では沈んだこと、海底にも地割れや噴砂など様々な変動が起こったことなどを、巨大地震のメカニズムと併せて述べられました。

最後に、今後地震観測はどうすればいいのか、先生の持論が話され、長期的な密度の濃い精度の高い観測をグローバルに行う必要性を強調されました。そしてこうした地震の観測から地球内部の構造をより詳しく把握することも必要であることを述べられました。

講演後の質問では、伊豆大島付近にはどのくらい歪みがたまっているのか、錢州海底の南で新しい沈み込みが始まっているのかなどの活発な質問がありました。最後に、聴講者を代表して、相模川の生い立ちを探る会会員より花束の贈呈があり、講演会を無事終了しました。



| 10月の行事予定 |                                                                                  |  |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------|--|
| 1 火      | ○秋期特別展「十九路に道を求める棋士<br>-木谷實-」(至:11月29日)                                           |  |
| 5 土      | 地質調査会                                                                            |  |
| 6 日      | 民俗探訪会「八王子道を歩くII」<br>(田村~大神)<br>○特別展記念木谷門下一日指導基教室                                 |  |
| 10 祝     | ○特別展記念公開対局会(中央公民館)                                                               |  |
| 11 金     | ○星を見る会「木・土星を見よう」                                                                 |  |
| 12 土     | ○漂着物を拾う会(平塚海岸)<br>平塚の空襲と戦災を記録する会<br>古文書講読会<br>天体観察会「秋の星空と外惑星」(大磯)                |  |
| 13 日     | ○自然観察会「秋の河原を訪ねて」(相模川)<br>○特別展記念囲碁入門教室<br>○特別展記念木谷門下一日指導基教室                       |  |
| 16 水     | 裏打ちの会<br>地質調査会(館内)                                                               |  |
| 19 土     | 平塚の空襲と戦災を記録する会                                                                   |  |
| 20 日     | 相模川の生き立ちを探る会<br>「平山の活断層」(山北町平山)<br>古代遺跡を探す会<br>○特別展記念囲碁入門教室<br>○特別展記念木谷門下一日指導基教室 |  |
| 24 木     | 石仏を調べる会                                                                          |  |
| 26 土     | 古文書講読会                                                                           |  |
| 27 日     | 地質調査会(野外)<br>○特別展記念木谷門下一日指導基教室                                                   |  |
| 31 木     | 閉館                                                                               |  |

## ●牛寺另り展

「十九路に道を求める棋士-木谷實-」  
・会期:10月1日(火)~11月29日(金)

☆特別展記念公開対局会

・日時:10月10日(祝)13:00~16:30

・会場:中央公民館ホール

・申込:はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「対局会」係へ(はがきは1人1枚)  
・定員:先着700名

☆特別展記念木谷門下一日指導基教室:

10月6、13、20、27日、11月10、17、24日(日)

☆特別展記念囲碁入門教室:10月13、20日(日)

☆特別展記念多面打大会:11月3日(祝)

\*特別展記念行事の詳しい内容は表紙をご覧ください

## ●寄贈品コーナー

「みのりーモノから見える秋の収穫-」

・会期:10月30日(水)まで

「縄文土器作品展」:11月1日(金)~11月29日(金)

## ●プラネタリウム一般投影

「流れ星の降る夜~しお座流星群編~」

・期間:11月17日(日)まで・投影日:土・日曜日

・時間:①11:00 ②14:00・観覧料:100円

| 11月の行事予定 |                                                                                            |  |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 2 土      | みんなで調べよう「ひつつき虫調べ」<br>地質調査会(館内)                                                             |  |
| 3 祝      | ○特別展記念多面打大会(紅谷町バーカード)                                                                      |  |
| 8 金      | ○星を見る会「ヘルボップ彗星を見よう」                                                                        |  |
| 9 土      | ○漂着物を拾う会(平塚海岸)<br>古文書講読会<br>平塚の空襲と戦災を記録する会<br>天体観察会「ヘルボップ彗星の観察」                            |  |
| 10 日     | ○こども観察会「落ち葉を調べよう」<br>相模川の生き立ちを探る会(馬山)<br>民俗探訪会(厚木市相川)<br>○特別展記念木谷門下一日指導基教室                 |  |
| 13 水     | 地質調査会(館内)                                                                                  |  |
| 14 木     | 石仏を調べる会                                                                                    |  |
| 16 土     | 平塚の空襲と戦災を記録する会                                                                             |  |
| 17 日     | 古代遺跡を探す会<br>○特別展記念木谷門下一日指導基教室                                                              |  |
| 20 水     | 裏打ちの会                                                                                      |  |
| 24 日     | ○自然観察ゼミナール「鳥のねぐら入門」<br>地質調査会<br>○特別展記念木谷門下一日指導基教室                                          |  |
| 28 木     | 石仏を調べる会                                                                                    |  |
| 30 土     | ○自然観察ゼミナール「鳥のねぐら入門」<br>○は参加自由 ○は申込制 他は会員制<br>☆イブニングミュージアムのお知らせ☆<br>特別展期間中の金曜日は午後7時まで開館します。 |  |

## 参加者募集

●自然観察会「木の河原を訪ねて」  
河原の植物やバッタ類の観察をします。

日時:10月13日(日)13:30~16:30

場所:平塚市田村付近の相模川

〆切:10月5日(土)

●第3回こども観察会「落ち葉を調べよう」

落ち葉の拓本作りや落ち葉を食べる虫の観察をします

日時:11月10日(日)14:00~16:00

場所:高麗山~浅間山付近

対象:小中学生とその保護者

〆切:10月30日(水)

\*申込:往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「〇〇〇係」へ

## ●星を見る会「木・土星を見よう」

・日時:10月11日(金)19:00~20:30

・場所:博物館屋上(科学教室集合)・参加自由

## ●漂着物を拾う会

海岸に打ち上げられた動植物や人工物を拾い調べます

・日時:10月12日(土)9時30分~11時・参加自由

・場所:平塚海岸(花水川橋平塚側ともと記念碑前)

あなたと博物館 21巻7号 還巻236号 03000 発行 平塚市博物館

T254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949